

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: バックホースト メリッサ 梨奈	
科目名: 英語・英会話		1学年	後期
担当者実務経験: 翻訳家・英会話講師		講義種別: 講義	
到達目標	①間違いを恐れず話せるようになる。②知っている言葉を使ってできる限りコミュニケーションをとる努力ができるようになる。③アルファベットと数字を使いこなせるようになる。④自己紹介ができるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	カタカナ語、True or False、Asking questions		
2	アルファベット・数字の聞き取り		
3	アルファベット（発音読み）・数字に関するQ&A（日付、スペル、年齢、電話番号、住所、身長、ものの重さ）		
4	アルファベット・数字に関するQ&A（スペル、誕生日、色、時間）		
5	ゲーム大会（しりとり、伝言ゲーム、ピクショナリー）		
6	単語・数字に関するQ&A（単語、金額）、Making sentences from cards		
7	単語・数字に関するQ&A（単語、足し算引き算）、Making sentences from cards		
8	単語・数字に関するQ&A（単語、1000以上の数）、Making sentences from cards		
9	発音B vs V、接頭辞		
10	ゲーム大会（かるた、ジェスチャー、True or False）		
11	Melissaについて説明		
12	発音TH vs TH、アンケート		
13	広告/HP/看板づくり		
14	自己紹介文作成・スピーチ練習		
15	自己紹介スピーチ発表		
成績評価	出席30%、参加・意欲態度40%、プリント20%、スピーチ発表10% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: バックホースト メリッサ 梨奈	
科目名: 英語・英会話		2年	前期
担当者実務経験: 翻訳家・英会話講師		講義種別: 講義	
到達目標	①英語話者と英語による意思疎通を試みることができるようになる(知っている単語を駆使する、ジェスチャーを使うなど)。 ②日常生活・海外旅行時の簡単な質疑応答ができるようになる。 ③読む・書くだけでなく、聴く・話すができるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Asking questions		
2	体の部位・学校ワード、名前		
3	もの・活動ワード、アンケート		
4	先生・科目ワード、接頭辞		
5	ゲーム大会(しりとり、伝言ゲーム、ピクショナリー)		
6	家族・家の間取りワード、Making stories		
7	食べ物ワード、Making stories		
8	ショッピング・買い物ワード、Making stories		
9	交通ワード		
10	ゲーム大会(かるた、ジェスチャー、True or False)		
11	アメリカの祝日カレンダー		
12	旅行ワード		
13	発音A、アメリカ50州		
14	テーマ別スピーチ作成・練習		
15	テーマ別スピーチ発表		
成績評価	出席30%、参加・意欲態度40%、プリント20%、スピーチ発表10% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 萩原 誠	
科目名: カルチャー史論		1学年	後期
担当実務経験: ラジオパーソナリティ/番組制作会社代表		講義種別: 講義	
到達目標	ポピュラーミュージック、ファッション、近代アートの歴史を中心として、その背景にある政治・経済など数々の社会問題を知り一般教養を身につける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	講師自己紹介、サブカルチャーの歴史をなぜ学ぶのか?		
2	大航海時代と植民地、西洋の文化と東洋の文化 幕末の日本の立場 15世紀～		
3	アメリカ大陸への移住と開拓 ブルースやジャズの流行 ヨーロッパの白人文化とアフリカの黒人文化 ブルースとは、 ブギウギのリズム ジャンルの話		
4	戦後の価値観とベビーブーム ダンスミュージックとしてのジャズとR&B/JAZZとは		
5	50年代のアメリカロックンロール 白人の若者が黒人の音楽に触れることによって起きる社会問題		
6	50年代のアメリカロックンロール エルビスプレスリーの登場 ロックンロールの衰退の理由		
7	第二次大戦と戦後の冷戦 民主主義、資本主義、社会主義、共産主義とはなぜ民主主義と社会主義が対立するのか		
8	60年代フォークからフォークロックへ、ボブデュラン登場		
9	60年代のイギリスロック イギリスとはどんな国なのか?イギリスでは自由な音楽スキップルが人気に、そしてビートルズがデビュー		
10	60年代のヒット曲を聴くサイモンとガーファンクル、ボブデュラン、ビートルズを中心に		
11	シカゴブルースがロンドンで人気にローリングストーンズが誕生 ギターヒーローが誕生するエリッククラプトン、ジェフバック、ジミーページ、ジミ・ヘンドリックス		
12	ブリティッシュロックがアメリカでヒットビートルズLIVE活動中止、サイケデリックロックへと		
13	反戦運動とヒッピーカルチャー、フラワームーブメント		
14	筆記試験		
15	授業まとめ、試験のおさらい		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 萩原 誠	
科目名: カルチャー史論		2年	前期
担当者実務経験: ラジオパーソナリティ/番組制作会社代表		講義種別: 講義	
到達目標	ポピュラーミュージック、ファッション、近代アートの歴史を中心として、その背景にある政治・経済など数々の社会問題を知り一般教養を身につける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	映画マルコムXを題材にj人種差別と公民権運動を考える前編		
2	映画マルコムXを題材にj人種差別と公民権運動を考える後編		
3	50年代60年代のおさらい (連休明けになるので)		
4	スペースブーム、レトロフューチャー70年代ロック (グラム、メタル、プログレ) その1		
5	アンディウォーホル、バスキヤ等近代アート70年代ロック (グラム、メタル、プログレ) その2		
6	70年代の黒人社会ニューソウル&ファンク		
7	レゲエ その1 ジャマイカという国、ラスタファリズム		
8	レゲエ その2 ポブマーリーとジャマイカンの価値観		
9	70年代パンク その1 70年代中頃アメリカの社会状況、イギリスの経済状況		
10	70年代パンク その2レゲエの影響~ニューウエーブ		
11	ニューウエーブと呼ばれる多様な音楽を聴いてみよう (ツートーンスカ、ニューロマンティック、ファンカラティーナ、テクノ)		
12	ヒップホップ1 ジャマイカとニューヨークの関係サウスブロンクスなど黒人達の新しい動き		
13	ヒップホップ2 ヒップホップが世界へ そして音楽の作り方が変わる		
14	筆記試験60年代70年代80年代のムーブメントの特徴		
15	これまでのまとめと80年代以降の音楽について		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 加藤 千尋	
科目名: デジタルデザイン		1学年	後期
担当者実務経験: レタツチャー11年		講義種別: 演習	
到達目標	自分の作品など撮影した際、ある程度のことは自分でできるようになる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	手書きデザインをデータ化してPNG保存		
	色域指定		
2	ひまわりと花火		
	チャンネル スクリーン		
3	人物の肌レタッチ		
	スタンプ ダスト&スクラッチ		
4	炎の精		
	色調整 スクリーン		
5	部屋に素材合成		
	マスク 調整レイヤー		
6	缶にロゴ		
	描画モード		
7	合成写真作成		
	素材配布		
8	合成写真完成		
9	小説の表紙 ラフ		
10	小説の表紙 撮影、作成		
11	小説の表紙 作成		
12	小説の表紙 完成		
13	自分の作品の写真をレタッチ		夏休み課題として、この時使う写真を撮ること
14	試験対策		
15	筆記、実技		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70~79点 C評価) 60~69点 D評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 加藤 千尋	
科目名: デジタルデザイン		2年	前期
担当者実務経験: フォトレタッチャー		講義種別: 演習	
到達目標	自分の作品などを撮影した際、ある程度のことは自分で出来るようになる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	手書きデザインをデータ化してPNG保存		
	色域指定 保存形式		
2	ひまわりと花火		
	チャンネル スクリーン		
3	人物の肌レタッチ		
	スタンプ ダスト&スクラッチ		
4	炎の精		
	色調整 スクリーン		
5	部屋に素材合成1		
	マスク 調整レイヤー		
6	部屋に素材合成2		
	マスク 調整レイヤー		
7	合成写真	違和感のある写真を違和感なく作る	
	撮影 作業		
8	合成写真		
	完成		
9	構図 フレーミング		
	座学		
10	小説の表紙		
	撮影 作成		
11	小説の表紙		
	作成		
12	小説の表紙		
	完成		
13	自分の作品の写真をレタッチ	夏休み課題として、このとき使う写真を撮ってくること	
14	試験対策日		
15	期末試験		
	筆記 実技		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。</p> <p>期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。</p> <p>各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。</p> <p>A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 宮川 ちえ	
科目名: 描写 I		1学年	前期
担当者実務経験: ジュエリーデザイナー、美術予備校講師		講義種別: 演習	
到達目標	デッサンの基礎的な知識から、道具の使い方や質感表現の理解を深める。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		描いてみたいモチーフ
	授業説明		
2	基本①		
	立方体・球体		
3	基本②		200~300mlくらいの白無地の紙コップ2つ
	円柱		
4	基本③		
	スケッチ・クロッキー		
5	基本④		
	自然物の観察		りんご、れもんなど果物1点
6	質感①		
	透明なものを描く		シンプルなガラスコップ
7	質感②		無地、薄い色のフェイスタオル
	布を描く		
8	質感③		金属質のスプーン
	金属質を描く		
9	質感④		毛糸玉
	複雑なものを描く		
10	質感⑤		BOXのティッシュ箱
	印刷物を描く		
11	細密①		授業内で指示
	一つのモチーフを細密に描く		
12	細密②		
	続き・講評		
13	卓上①		授業内で指示
	卓上デッサン		
14	卓上②		
	つづき		
15	卓上③		
	仕上げ・講評		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70~79点 C評価) 60~69点 D評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 楠原 彰経	
科目名: 図学図法		1学年	前期
担当者実務経験: 美術講師、造形作家。過去にデザイン事務所にて業務に従事。		講義種別: 演習	
到達目標	造形原理や法則の理解により、創造力の幅を広げる。 手書きによる正確で丁寧な作図の練習により、表現の基礎力を身につける。 効率的な作業とレイアウト・バランス感覚の習得。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション、基本作図 授業の進め方、課題の作成方法、線、円の基本作図練習		
2	平面図学① 直線と角の分割		
3	平面図学② 正多角形		
4	平面図学③ 楕円、螺旋		
5	平面図学④ パターン		
6	立体図学① 立体図学概要、三面図、投影図		
7	立体図学② 三面図、投影図		
8	立体図学③ 展開図		
9	立体図学④ 展開図		
10	立体図学⑤ 透視図概要、平行透視図(1点透視図)		
11	立体図学⑥ 平行透視図(1点透視図)		
12	立体図学⑦ 有角透視図(2点透視図)		
13	立体図学⑧ 有角透視図(2点透視図)		
14	立体図学⑨ 陰影透視図		
15	まとめと復習		
成績評価	出席、課題の提出、課題の習熟度により総合的に評価。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 辻 政之	
科目名： 立体構成		1学年	前期
担当者実務経験： 自動車メーカーデザイン部→デザイン事務所→設計事務所→個人デザイン事務所 (造形デザイン・模型製作・カラー/グラフィック等)		講義種別： 演習	
到達目標	クリエイターに必要となる立体/空間構成の表現方法/技法を習得する		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション/立体構成について	ケント紙切り出し	カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	【制作課題】立体構成1-1(紙立体)	B4ケント紙×2枚	
2	【制作課題】立体構成1-2(紙立体)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	ケント紙切り出し/組み立て/作品講評会	B4ケント紙×2枚	
3	【制作課題】立体構成2-1(紙立体)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	アイデアスケッチ/習作	B4ケント紙×2枚、トータルカラー	
4	【制作課題】立体構成2-2(紙立体)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	立体制作	B4ケント紙×2枚、トータルカラー	
5	【制作課題】立体構成2-3(紙立体)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	立体制作仕上げ/作品講評会	B4ケント紙×2枚、トータルカラー	
6	【制作課題】立体構成3-1(スチレンボード立体)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	アイデアスケッチ/習作	A3スチレンボード5mm厚×3枚	
7	【制作課題】立体構成3-2(スチレンボード立体)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	立体制作	A3スチレンボード5mm厚×3枚	
8	【制作課題】立体構成3-3(スチレンボード立体)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	立体制作仕上げ/作品講評会	A3スチレンボード5mm厚×3枚	
9	【制作課題】立体構成4-1(紙, その他各種素材)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	アイデアスケッチ/習作	※紙, その他白色各種素材	
10	【制作課題】立体構成4-2(紙, その他各種素材)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	立体制作	※紙, その他白色各種素材	
11	【制作課題】立体構成4-3(紙, その他各種素材)		カッター、ハサミ、定規(直、直角定規)、コンパス、カッターマット、マスキングテープ、スチノリ、接着剤、スチレンボード
	立体制作仕上げ/作品講評会	※紙, その他白色各種素材	
12	【制作課題】立体構成5-1(粘土立体)		カッターマット、スケッチブック、雑巾、粘土ヘラ等、アクリルガッシュ、彩色道具一式
	アイデアスケッチ/習作	石塑粘土、キッチンラップ、ジップブロック	
13	【制作課題】立体構成5-2(粘土立体)		カッターマット、スケッチブック、雑巾、粘土ヘラ等、アクリルガッシュ、彩色道具一式
	立体制作	石塑粘土、キッチンラップ、ジップブロック	
14	【制作課題】立体構成5-3(粘土立体)		カッターマット、スケッチブック、雑巾、粘土ヘラ等、アクリルガッシュ、彩色道具一式
	立体制作	石塑粘土、キッチンラップ、ジップブロック	
15	【制作課題】立体構成5-4(粘土立体)		カッターマット、スケッチブック、雑巾、粘土ヘラ等、アクリルガッシュ、彩色道具一式
	立体制作仕上げ/作品講評会	石塑粘土、キッチンラップ、ジップブロック	
成績評価	<p>作品評価点50点 出席点30点 意欲態度20点 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 辻 政之	
科目名: 平面・色彩構成		1学年	前期
担当者実務経験: 自動車メーカーデザイン部→デザイン事務所→設計事務所→個人デザイン事務所 (造形デザイン・模型製作・カラー/グラフィック等)		講義種別: 演習	
到達目標	クリエイターに必要な不可欠な色彩学の基礎を習得する クリエイターに必要なとなる平面構成の表現方法/技法を習得する		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	色彩学の基礎	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
2	【制作課題】平面構成1-1		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	アイデアスケッチ/下描き	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
3	【制作課題】平面構成1-2		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	下描き/彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
4	【制作課題】平面構成1-3		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
5	【制作課題】平面構成1-4		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	彩色仕上げ/作品講評会	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
6	【制作課題】平面構成2-1		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	習作課題	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
7	【制作課題】平面構成2-2		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	アイデアスケッチ/下描き	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
8	【制作課題】平面構成2-3		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
9	【制作課題】平面構成2-4		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
10	【制作課題】平面構成2-5		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	彩色仕上げ/作品講評会	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
11	【制作課題】平面構成3-1		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	習作課題	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
12	【制作課題】平面構成3-2		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	アイデアスケッチ/下描き	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
13	【制作課題】平面構成3-3		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
14	【制作課題】平面構成3-4		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	彩色	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
15	【制作課題】平面構成3-5		新規購入分画材一式(アクリルガッシュ, パレット, 絵皿, 筆類, 定規類, 筆洗等) 雑巾布, 筆記具, ハサミ, カッター, スティックのり
	彩色仕上げ/作品講評会	B3ケントボード	配色アイデアブック, 配色カード, PCCSカラーチャート クリアファイル, スケッチブック
成績評価	作品評価点50% 出席点30% 意欲態度点20% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 山道 由布子	
科目名： 雑貨アクセサリ基礎		1学年	前期
担当者実務経験： レジンアートデザイナー（yufu color）として、国内・国外販売の経験をし、現在約10店舗ほどブランドを展開中。		講義種別： 演習	
到達目標	素材やパーツの仕組みを知り、ブランドに合ったオリジナルアクセサリ制作		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介、1MA前期授業内容の説明、パーツの説明、丸カン開閉取得		持ってくるもの ・筆記用具
	丸カン開閉の練習		
2	パーツ屋さん見学（学外）		
	前期で使うパーツ購入（後日購入OK!）		
3	ブランド名、ブランドコンセプト決めて台紙の制作	目標10枚制作（前期で使う分）	持ってくるもの ・各自台紙に必要なもの
4	Tピン、9ピンの使い方	※プレスレット提出	持ってくるもの ・9ピン・工具類
	9ピンを使ってプレスレットを作ろう！		
5	レジン基礎①		持ってくるもの ・レジン・工具類・レジン カラー剤（持っている）
	ミール皿を使って制作		
6	レジン基礎②		持ってくるもの ・レジン・工具類・レジン カラー剤（持っている）
	フレームを使って制作		
7	レジン基礎③		持ってくるもの ・レジン・工具類・レジン カラー剤（持っている）
	モールドを使って制作		
8	レジンを使って自由制作	※作品提出	持ってくるもの ・各自必要なもの
	ブランドに合ったオリジナルアクセサリを作る。		
9	プラ板アクセサリ制作基礎①		持ってくるもの ・色鉛筆・レジン・はさみ
	ヘアアクセサリ作り！		
10	プラ板アクセサリ制作基礎②		持ってくるもの ・色鉛筆・レジン・はさみ
	立体に挑戦！		
11	樹脂粘土基礎①		持ってくるもの ・アクリル絵の具
12	樹脂粘土基礎②	※制作物提出	
	仕上げること。		
13	ディスプレイ基礎		
14	学祭or期末技量考査の作品制作		持ってくるもの ・各自必要なもの
15	学祭or期末技量考査の作品制作		持ってくるもの ・各自必要なもの
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 山道 由布子	
科目名: アクセサリ制作 I		1学年	後期
担当者実務経験: レジンアートデザイナー (yufu color) として、国内・国外販売の経験をし、現在約10店舗ほどブランドを展開中。		講義種別: 実技	
到達目標	オリジナルデザイン、ディスプレイ基礎・販売に必要な知識の習得		
回	授業内容	課題内容	備考
1	後期授業内容の説明、学祭について、後期分の台紙制作		
2	ビーズを使ったピンワーク	★作品提出	
3	立体に花レジンアクセサリ制作	★作品提出	
4	ハーバリウム		
5	ミンクファーを使ったアクセサリ制作	★作品提出	
6	ギフトラッピング、発送について、スマホの撮り方①		
7	ギフトラッピング、発送について、スマホの撮り方②		
8	クリスマスプレゼント交換 (デザイン決め)		
9	クリスマスプレゼント交換 (制作)		
10	クリスマスプレゼント交換 (交換会)	★作品提出	
11	台紙、ショップカードや看板制作 (パソコン)		
12	台紙、ショップカードや看板制作 (パソコン)		
13	ディスプレイ制作 (アイデア出し、買い出し)		
14	ディスプレイ什器制作		
15	期末技量考査の準備		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70~79点 C評価) 60~69点 D評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 山道 由布子	
科目名: アクセサリ制作 I		2年	前期
担当者実務経験: レジンアートデザイナー (yufu color) として、国内・国外販売の経験をし、現在約10店舗ほどブランドを展開中。		講義種別: 実技	
到達目標	素材作り、オリジナルデザインのクオリティを上げ、販売までの実務経験を積む。 (木・2限目 12:20~14:45)		
回	授業内容	課題内容	備考
1	2MA前期授業内容の説明、インスタ投稿について		
2	ドライフラワー・プリザーブドフラワーの違い フラワータッセル作り		持ってくるもの ・レジン・パルミ・セメタイン・アクセサリ金具・プリザーブドフラワー
3	ドライフラワー・プリザーブドフラワーの違い 出来上がりドライフラワーを使ってアクセサリ制作		持ってくるもの ・レジン・アクセサリ金具・台紙
4	ワイヤーアート ワイヤーの練習		持ってくるもの ・ワイヤー・LEDライトアップアートレジン・レジンカニーク
5	学外見学 (福岡パルコ) ディスプレイやデザインの見学		持ってくるもの ・博多駅から天神までの電車代
6	ワイヤーアート 仕上げてアクセサリにする。		持ってくるもの ・ワイヤー・LEDライトアップアートレジン・レジンカニーク
7	オーダー制作 相手決め、作品のアイデア出し、買い出し		
8	オーダー制作		持ってくるもの ・各自必要なもの
9	オーダー制作 仕上げ、受け渡し日、作品アイデア出し (5点~)、		持ってくるもの ・各自必要なもの
10	校内販売準備 制作開始		持ってくるもの 各自必要なもの
11	校内販売仕上げ→ディスプレイまで 7/4販売開始~7/11撤去		持ってくるもの ・作品・ディスプレイ用装飾品
12	校内販売撤去 結果発表		
13	学祭、期末テスト準備		持ってくるもの ・各自必要なもの
14	学祭、期末テスト準備		持ってくるもの ・各自必要なもの
15	学祭、期末テスト準備		持ってくるもの ・各自必要なもの
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 橋本 政俊	
科目名: ソーイング制作		1学年	前期
担当者実務経験: 染色家・デザイナーとして活躍するクリエイター		講義種別: 実技	
到達目標	前期では雑貨アイテムの中で布作品の素材、デザイン、ソーイングのテクニックを学び知識と技術を習得する。 後期ではより高度な知識や技術を習得し、ソーイング制作を上達させる。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ソーイングの基礎	手縫いの基礎	
	授業内容の説明、道後の説明	並縫い、くし縫い、返し縫い、半返し縫い	
2	ソーイングの基礎		
	まつり縫い、千鳥がけなど		
3	ソーイングの基礎		
	ボタン付け、前カン付け		
4	ミシン縫いの基礎	糸通し、直線縫い、曲線縫い	
	ミシンの種類、操作、縫い方		
5	ミシン縫いの基礎	バイヤステープ作り	
	カーブ、角の縫い方		
6	ミシン縫いの基礎		
	筒の縫い方、ロックミシンの使い方		
7	ファスナーの付け方		
	3種類のファスナーの付け方		
8	ファスナーの付け方		
	ファスナー付ポーチの練習		
9	【校外授業】雑貨&アクセサリのリサーチ		
	雑貨屋へ行く、レポート提出		
10	【校外授業】素材リサーチ		次回授業のために生地を買う
	手芸店へ行く、レポート提出		
11	巾着袋の制作		
12	グルグルファスナーの制作		
13	がま口ポーチの制作		
14	マカロンケースの制作		
15	予備日		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名 橋本 政俊	
科目名:ソーイング制作		1年	後期
担当者実務経験:染色家・デザイナーとして活躍するクリエイター		講義種別:	演習
到達目標	作品のアクセントや、個性づくりに役立つ各種素材を使った「飾り」を学習し、オリジナル作品作りの基礎を作る		
1	基本刺繍、リボン刺繍、		
2	スパンコール刺繍、ビーズ刺繍、	スパンコール刺繍、ビーズ刺繍、	
3	サンブラーに仕上げる	仕上げる	
4	素材の知識の応用 布のコサージュ		
5	つまみ細工、各種		
6	リボンを使って 巻きバラ、ロゼット、		
7	タッセル、ボンボンメーカーを使って その他		
8	帽子の造形 デザイン、材料、型紙		
9	型紙、裁断、		
10	縫製		
11	オリジナル作品企画、製作、開始 進級作品とする		
12			
13			
14	作品完成		
15	予備日		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70~79点 C評価)60~69点 D評価)不合格		

雑貨&アクセサリーデザイン科		講師名: 橋本 政俊	
科目名: ソーイング制作		2年	前期
担当者実務経験: 染色家・デザイナーとして活躍するクリエイター		講義種別: 実技	
到達目標	1年生で学んだことの理解を深め、実践で役立つ知識や技術を習得する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	テキスタイルの制作		
	ゴムハンコ		
2	テキスタイルの制作		
	染色		
3	エプロン制作	ゴムハンコを用いてテキスタイルを作る	
	テキスタイル制作		
4	エプロン制作		
	型紙、裁断		
5	エプロン制作		
	縫製		
6	付け襟制作		
	型紙、裁断、縫製		
7	付け襟制作		
	縫製		
8	付け袖制作		
	型紙、裁断、縫製		
9	付け袖制作		
	縫製		
10	テディベア洋服制作		
	型紙、裁断		
11	テディベア洋服制作		
	裁断、縫製		
12	テディベア洋服制作		
	縫製		
13	テディベア洋服制作		
	縫製		
14	雑貨デザインコンペティション作品提出		
	リサーチ、傾向と対策		
15	雑貨デザインコンペティション作品提出		
	デザイン制作		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 三吉 由美子	
科目名: 革小物・彫金		1学年	後期
担当者実務経験: シルバーアクセサリデザイナー		講義種別: 実技	
到達目標	シリコーンを使いモールド型、片面、両面形製作発泡ウレタン樹脂、錫、ライガシルバー鑄造技術習得		
回	授業内容	課題内容	備考
1	店舗リサーチ (材料店のリサーチ)		
	天神エリア・川端エリア・博多エリア		
2	店舗リサーチ 発達		
3	革小物製作	カシメ・バネホック 5作品	
	端皮をつかって		
4	革小物製作 編み方		
	九編etc		
5	革小物製作		
	提出10作品		
6	革の小物 ポーチ (No.1)		
	デザイン制作		
7	型紙		
8	型紙		
9	革のバッグ (No.2)		
10	革のバッグ		
11	革のバッグ		
12	ディスプレイアレンジ		
13	イニシャルアレンジ 皮の小物に		
14	発表 展示 投票		
15	結果発表		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 三吉 由美子	
科目名: 革小物・彫金		2年	前期
担当者実務経験: シルバーアクセサリデザイナー		講義種別: 実技	
到達目標	スズ、彫金のケンマの仕方		
回	授業内容	課題内容	備考
1	2年で進行の仕方(授業)		
	彫金での説明		
2	シリコーンにスズを流してケンマ No.1		
3	スズペンダント(プレート)にくさりをつける。		
	型 ペンダントプレートに流してケンマ No.2		
4	仕上げ		
	自分のデザインのプレートをワックスをつかってくる No.3		
5	No.3の仕上げ シリコーンで型をとり(片面)		
	ネンド、シリコーン型取り道具		
6	ネンド、シリコーン型とり(一片面)		
7	自分のデザインプレートをみがく(ケンマ)3こ		
8	仕上げ	提出	
9	ダンボールでの皿づくり No.4		
10	ケンマ		
11	ケンマ No.4(5)		
12	仕上げ 提出		
13	ディスプレイプラン		
14	展示		
15	まとめ		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70~79点 C評価)60~69点 D評価)不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 中西 雪江	
科目名： マーケットビジネス		1学年	後期
担当者実務経験： マーチャンダイザー		講義種別： 実技	
到達目標	作品制作の考え方を「好き」から「市場」を意識できるように知識を広げ、市場に沿った作品を制作することができる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	マーケティング基本 I		
	マーケティングとは？ 専門用語を知る		
2	マーケティング基本 I		
	マーケティングとは？ 専門用語を知る		
3	マーケティング基本 I		
	マーケティングとは？ 専門用語を知る		
4	マーケティング基本 I		
	マーケティングとは？ 専門用語を知る		
5	マーケティング応用 I		
	情報収集と分析 既存のショップ情報を集め比較・分析する		
6	マーケティング応用 I		
	情報収集と分析 既存のショップ情報を集め比較・分析する		
7	マーケティング応用 I		
	情報収集と分析 既存のショップ情報を集め比較・分析する		
8	マーケティング応用 I		
	情報収集と分析 既存のショップ情報を集め比較・分析する		
9	マーケティング応用 II		
	マーケティング 予測を立てる		
10	マーケティング応用 II		
	マーケティング 予測を立てる		
11	マーケティング応用 III		
	既存店を分析・今後のトレンドを予測し、戦略を考える		
12	マーケティング応用 III		
	既存店を分析・今後のトレンドを予測し、戦略を考える		
13	マーケティング応用 III		
	既存店を分析・今後のトレンドを予測し、戦略を考える		
14	マーケティング応用 III		
	既存店を分析・今後のトレンドを予測し、戦略を考える		
15	マーケティング応用 III		
	既存店を分析・今後のトレンドを予測し、戦略を考える		
成績評価	出席30% 授業態度30% 提出物40% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 中西 雪江	
科目名： マーケットビジネス		2年	前期
担当者実務経験： マーチャンダイザー		講義種別： 実技	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学園祭を通して、学科内外の人に対する渉外力・提案力を身につける ・就職活動時の積極性・訴求力を身につける 		
回	授業内容	課題内容	備考
1	学園祭Ⅰ	学園祭イメージの明確化	
	企画（方向性、学校・先輩との関わり方などの概要を話し合う）		
2	学園祭Ⅰ	学園祭イメージの明確化と具体化	
	企画（方向性、スケジュールなどの概要の決定）		
3	学園祭Ⅰ	学園祭イメージの明確化	
	企画（スケジュールおよび役割などの具体化）		
4	学園祭Ⅱ	学園祭詳細の決定	
	企画（企画内容の詳細と具体策）		
5	学園祭Ⅱ		
	企画（企画内容の詳細と具体策）		
6	学園祭Ⅱ	学園祭詳細の決定	
	企画（企画内容の詳細と具体策）		
7	学園祭Ⅲ	学園祭に向け計画の実行	
	企画実行（全体の運営と作品制作）		
8	学園祭Ⅲ	学園祭に向け計画実行	
	企画実行（全体の運営と作品制作）		
9	学園祭Ⅲ	学園祭に向け計画実行	
	企画実行（全体の運営と作品制作）		
10	学園祭Ⅲ	学園祭に向け計画実行	
	企画実行（全体の運営と作品制作）		
11	学園祭Ⅲ	学園祭に向け計画実行	
	企画実行（全体の運営と作品制作）		
12	学園祭Ⅲ	学園祭に向け計画実行	
	企画実行（全体の運営と作品制作）		
13	学園祭Ⅲ	学園祭に向け計画実行	
	企画実行（全体の運営と作品制作）		
14	学園祭Ⅲ	計画実行	
	企画実行（全体の運営と作品制作）		
15	学園祭Ⅳ		
	学園祭（最終準備）		
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・出席40% ・授業態度（提案力・チームワーク力・責任感など）60% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 中西 雪江	
科目名： 商品企画&試作		1学年	後期
担当者実務経験： マーチャンダイザー		講義種別： 実技	
到達目標	企画をする上で必要な知識を学び、実際にオリジナルのブランド企画を立てていくことができる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ブランディング オリジナルブランド企画 I		
	ブランドの方向性を言葉にする		
2	ブランディング オリジナルブランド企画 I		
	ブランドの概要を考える		
3	ブランディング オリジナルブランド企画 I		
	ブランド名を考える		
4	ブランディング オリジナルブランド企画 I		
	ブランドのコンセプトを文章化する		
5	ブランディング オリジナルブランド企画 I		
	ブランドのターゲットを設定する		
6	ブランディング オリジナルブランド企画 I		
	ブランドのライバルを選定する		
7	ブランディング オリジナルブランド企画 I		
	ブランドの商品をデザインする		
8	ブランディング オリジナルブランド企画 II		
	ブレボードを作成し企画を視覚化する		
9	ブランディング オリジナルブランド企画 II		
	ブレボードを作成し企画を視覚化する		
10	ブランディング オリジナルブランド企画 II		
	ブレボードを作成し企画を視覚化する		
11	ブランディング オリジナルブランド企画 II		
	ブレボードを作成し企画を視覚化する		
12	ブランディング オリジナルブランド企画 II		
	ブレボードを作成し企画を視覚化する		
13	ブランディング オリジナルブランド企画 II		
	ブレボードを作成し企画を視覚化する		
14	ブランディング オリジナルブランド企画 II		
	ブレボードを作成し企画を視覚化する		
15	ブランディング オリジナルブランド企画 III		
	プレゼンテーションする		
成績評価	出席20% 授業態度20% 提出作品60% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70~79点 (C評価) 60~69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 中西 雪江	
科目名： 商品企画&試作		2年	前期
担当者実務経験： マーチャンダイザー		講義種別： 実技	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年後期で学んだブランド企画をベースに、市場・ライバルを意識した店舗展開を計画することができる ・VMDの基本を理解し、コンセプトに沿った店舗のイメージおよびゾーニングを考えることができる 		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ショップ企画Ⅰ オリジナルショップの基本的な方向性を決める	市場分析	
	マーケットトレンドを探る		
2	ショップ企画Ⅰ オリジナルショップの基本的な方向性を決める	コンセプトの文章化	
	コンセプト設定		
3	ショップ企画Ⅰ オリジナルショップの基本的な方向性を決める	ターゲットの具体化	
	ターゲット設定		
4	ショップ企画Ⅰ オリジナルショップの基本的な方向性を決める	品揃え計画	
	品揃え設定		
5	ショップ企画Ⅰ オリジナルショップの基本的な方向性を決める	ポジショニングマップの作成	
	ライバル設定		
6	ショップ企画Ⅰ オリジナルショップの基本的な方向性を決める	イメージの具体化	
	ショップイメージとゾーニングの設定		
7	ショップ企画Ⅱ オリジナルショップの具現化	必要画像の検索と保存	
	PCにて企画書仕上げ		
8	ショップ企画Ⅱ オリジナルショップの具現化	必要画像の検索と保存	
	PCにて企画書仕上げ		
9	ショップ企画Ⅱ オリジナルショップの具現化	必要画像の検索と保存	
	PCにて企画書仕上げ		
10	ショップ企画Ⅱ オリジナルショップの具現化	必要画像の検索と保存	
	PCにて企画書仕上げ		
11	ショップ企画Ⅱ オリジナルショップの具現化	必要画像の検索と保存	
	PCにて企画書仕上げ		
12	ショップ企画Ⅱ オリジナルショップの具現化	必要画像の検索と保存	
	PCにて企画書仕上げ		
13	ショップ企画Ⅱ オリジナルショップの具現化	必要画像の検索と保存	
	PCにて企画書仕上げ		
14	ショップ企画Ⅱ オリジナルショップの具現化	必要画像の検索と保存	
	PCにて企画書仕上げ		
15	ショップ企画Ⅲ プレゼンテーション		
	オリジナルショップ企画を聞き手に正しく伝える		
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・出席30% ・企画内容（市場内立ち位置・ライバル設定・オリジナリティなど）70% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70～79点 C評価) 60～69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 藤井 秀重	
科目名： 販売士		1学年	後期
担当者実務経験：福岡県飯塚商業高校（商業一般、簿記担当）、公益法人福岡県商工会連合会（経営専門指導員）、国立中小企業大学校直方校（研修専門員、販売心理学担当）		講義種別： 講義	
到達目標	コロナ禍後の実社会で、即役立つ知識、人生を生き抜くための知識、知恵を身につけさせたい。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ハートマネジメント①		
	人間の基本的欲求について		
2	＃		
	リーダーシップの種類		
3	＃	上司への対応	同僚、パートへの対応
	人間関係とコミュニケーション	0Jについて	
4	ハートマネジメント②		
	サービスの生産者ビジネス	笑顔の力について	「おもてなし」-は+を押さえる
5	＃		
	商品のライフサイクル	商品のプロダクトサイクル	
6	＃		
	企業の社会的責任	リスクマネジメント	
7	＃	店（企業の役割、店員の役割とは？）	
	SDGs、損益岐点		
8	ハートマネジメント③		
	人と「もの」をめぐる精神分析	心の消費とは？	
9	＃		
	商品が「もの」に変わるとき		
10	＃	雑貨はいつ頃生まれた？	
	商品の「必要性」と「儀礼性」	日本の歴史を見つめる。	
11	＃		
	人と自然の関係性から学ぶ販売学		
12	ハートマネジメント④		
	これまで（1～2年）の復習		
13	試験	論文	
		筆記試験予定	
14	解説		
		面接試験に役立つ論文予定	
15	解説		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 藤井 秀重	
科目名: 販売士		2年	前期
担当者実務経歴: 国立中小企業大学校直方校研修専門員 公益法人 福岡県商工会連合会専門経営指導員 有限会社アイ・シー・エヌ研究所代表取締役		講義種別: 講義	
到達目標	実社会で即役立つ知識を身につけて卒業させたい。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	販売士の役割と心構え		
2	これまで学んできたことのまとめ及び試験 販売に最も大切な知識		
3	販売の基本を歴史から学ぶ 上杉鷹山の経営学、販売学	アメリカ元大統領の尊敬する人物とは	
4	経営改革	諸表の数字の裏にあるもの	
5	危機を乗り越えるリーダーの条件		
6	人づくりの大切さ		
7	お客様の存在意義		
8	人と「もの」をめぐる精神分析 販売される商品の価値の変化		
9	商品が「もの」に変わるとき		
10	消費者と販売者の心理を研究する	購買・販売の心理の変化	
11	心による消化とは		
12	商品の「必需性」と「儀礼性」	日本の伝統、文化と日常生活	
13	「ハレ」と「ケ」と雑貨・アクセサリに係わり		
14	試験		
15	振り返り		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70~79点 C評価) 60~69点 D評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 森 賢太郎	
科目名: ファッションコーディネーター		1学年	前期
担当者実務経験: フリーランススタイリスト歴28年		講義種別: 実技	
到達目標	セルフプロデュース力の向上・トレンドを意識したクリエイト		
回	授業内容	課題内容	備考
1	セルフスタイル考察		
	現在の自分と理想の自分の比較		
2	2024SS TREND MAP		
	今シーズンのトレンドマップ制作 (1/4)		
3	2024SS TREND MAP		
	今シーズンのトレンドマップ制作 (2/4)		
4	2024SS TREND MAP		
	今シーズンのトレンドマップ制作 【3/4】		
5	2024SS TREND MAP		
	今シーズンのトレンドマップ制作 (4/4)		
6	セルフスタイリングMAP		
	セルフスタイリングプラン		
7	セルフスタイリングMAP		
	撮影		
8	セルフスタイリングMAP		
	撮影素材を使用して平面構成		
9	セルフスタイリングMAP		
	撮影素材を使用して平面構成		
10	SUMMER TREND MAP		
	TREND MAP作成 (1/4)		
11	SUMMER TREND MAP		
	TREND MAP作成 (2/4)		
12	SUMMER TREND MAP		
	トレンドマップ制作 (3/4)		
13	SUMMER TREND MAP		
	トレンドマップ制作 (4/4)		
14	セルフスタイリング		
	撮影		
15	セルフスタイリング		
	平面構成		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 森 賢太郎	
科目名: ファッションコーディネート		1学年	後期
担当者実務経験: フリーランススタイリスト歴28年		講義種別: 実技	
到達目標	客観的に自分を見られるようになること/多くの選択肢の中から自己表現手法を選択出来るようになること		
回	授業内容	課題内容	備考
1	SELF MANAGEMENT CHECK	セルフスタイリング画の作成	
	現在の自分と理想の自分をデザイン画として起こし、客観的な観点からのチェックを行う		
2	2024TREND MAP作成(1/4)※トレンドチェック	リサーチ	
	2024年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
3	2024SUMMER TREND MAP作成(2/4)※プレゼン	プレゼン	
	2024年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
4	2024TREND MAP作成(3/4)※マップ制作	マップ制作	
	2024年のトレンドチェックを行い、MAP作成		
5	2020TREND MAP作成(1/4)※トレンドチェック	プレゼン	
	2020年のトレンドマッププレゼン		
6	URBAN OUTDOOR MAP作成(1/3)	マップ制作	
	都会的なアウトドアライフ(実際のアウトドアと都会での暮らしをシームレスに意識)マップ作成		
7	URBAN OUTDOOR MAP作成(2/3)	マップ制作	
	都会的なアウトドアライフ(実際のアウトドアと都会での暮らしをシームレスに意識)マップ作成		
8	URBAN OUTDOOR MAP作成(3/3)	プレゼン	
	都会的なアウトドアライフ(実際のアウトドアと都会での暮らしをシームレスに意識)マッププレゼン		
9	2024MONOTONE MAP作成(1/3)	マップ制作	
	モノトーンをテーマにマップ制作		
10	2026MONOTONE MAP作成(2/3)	マップ制作	
	モノトーンをテーマにマップ制作		
11	2021MONOTONE MAP作成(3/3)	プレゼン	
	モノトーンテーマのマッププレゼン		
12	2025TREND MAP作成(1/4)※トレンドチェック	リサーチ	
	2025年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
13	2025年TREND MAP作成(2/4)※プレゼン	プレゼン	
	2025年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
14	2025TREND MAP作成(3/4)※マップ制	マップ制作	
	2025年のトレンドチェックを行い、プレゼン→各自MAP作成		
15	2025TREND MAP作成(4/4)※マップ制作	プレゼン	
	2025年トレンドマップのプレゼン		
成績評価	出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価)80点以上 B評価)70~79点 C評価)60~69点 D評価)不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 北島 綾子	
科目名： 手芸 I		1学年	前期
担当者実務経験： デザイン、手芸、ソーイングの講師業 フリーランスのデザイナーとして個人や企業からのアパレルや雑貨もデザイン、製作を手がける。		講義種別： 実技	
到達目標	ファッションやインテリアを全体として捉え、一つ一つの雑貨やアクセサリがその一部として作品や商品をデザインする。 広い意味での企画&デザインを提案できるようになるのが目標		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介（講師、学生）	雑貨屋さんレポート（PC使用）	自分がここで学ぶべきことは何かを確認する
	授業の流れの説明	インスピレーションを集めよう（PC使用）	持ってくるもの PC
2	人生20年計画を書いてみる	先週集めたものをPCでチェック	持ってくるもの PC、クロッキー帳
	デザインの3要素を学ぶ形成、色、素材について形態の基礎（点、線、曲線、直線、面、立体）	形態の基礎をクロッキー帳に描く	
3	色彩研究	色のみで「言語イメージスケール」を作る PC使用	持ってくるもの PC
	色彩について色彩の基礎理論をもとに「言語イメージスケール」の作成に入る		
4	素材研究	素材表を作る 素材名に生地を貼る	持ってくるもの メンディングテープ
	色々な雑貨&アクセサリの素材について、繊維について、布ができるまで		
5	素材研究	素材表を作る 素材名に生地を貼る	持ってくるもの メンディングテープ
	繊維について編み（ニットについて）		
6	言語イメージスケール		持ってくるもの PC
	雑貨やアクセサリで言語イメージスケールを作る（PC使用）		
7	繊維表と言語イメージスケール		持ってくるもの PC
	繊維表と言語イメージスケールを完成させる		
8	デザイン画の基礎	クロッキー帳に描いてみる（PC画像見ながら）	持ってくるもの PC、クロッキー帳
	雑貨やアクセサリのデザインを描いてみる、造形のトレーニング		
9	オリジナルデザインへの発展	実際にデザインしてみる	持ってくるもの PC、クロッキー帳、
	デザインの起こし方、インスピレーションソース～形、色、素材を選ぶ～ラフスケッチ、造形のトレーニング		
10	オリジナルデザインへの発展		持ってくるもの PC、クロッキー帳、
	コンセプト設定しイメージマップを製作		
11	オリジナルデザインの企画書		持ってくるもの PC、クロッキー帳
	オリジナルデザイン画ラフスケッチ		
12	オリジナルデザインの企画書		持ってくるもの PC、クロッキー帳、
	前回の続き		
13	織の実習		布切り挟み
	卓上織り機を使ってテーブルセンターを作る		日程は変更になる事もあります。
14	織の実習		布切り挟み
	卓上織り機を使ってテーブルセンターを作る		日程は変更になる事もあります。
15	企業訪問		日程は変更になる事もあります。
	企業訪問を企画しています。スケジュールのどこかに入ってくるので、ズレを見越して15回目に記入しています		
成績評価	出席点30%課題提出50%意欲態度20% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 橋川 彩	
科目名: 手芸Ⅱ		1学年	後期
担当者実務経験: 刺繍手芸作家		講義種別: 実技	
到達目標	<p>様々な手芸を学び基礎技術を身につけ、応用発展して作品に活かしていく。 作り手のポリシーを作品に反映し、用途や機能性、安全性、経済性などを考慮するとともに作品の完成度を高める。 常に感性を開拓しながらトレンド性や他分野との融合を意識するなど広い視野でものづくりに臨み、新しい作品を生み出すことを目指す。</p>		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介 刺繍①	刺繍サンブラー	
	制作の準備 線の刺繍		
2	刺繍②	刺繍サンブラー	
	線の刺繍		
3	刺繍③	刺繍サンブラー	
	面を埋める刺繍		
4	刺繍④	刺繍サンブラー	
	ビーズ刺繍 スパンコール刺繍		
5	刺繍⑤	刺繍サンブラー	
	リボン刺繍		
6	フリーステッチング&パンチニードル①		
	お道具の使い方、ステッチの練習		
7	フリーステッチング&パンチニードル②	フリーステッチングのプローチ	
	作品制作	パンチニードルのコースター	
8	フリーステッチング&パンチニードル③	フリーステッチングのプローチ	
	作品制作	パンチニードルのコースター	
9	ウェディングヘア①	ティヘア	
	制作準備: パーツ縫い(手)		
10	ウェディングヘア②	ティヘア	
	パーツ縫い(足、胴、顔)		
11	ウェディングヘア③	ティヘア	
	パーツ縫い(耳), 顔の造形		
12	ウェディングヘア④	ティヘア	
	組み立て、綿つめ、ラダーステッチ		
13	ウェディングヘア⑤		衣装制作は各自好きな生地を持ってくる
	ヘアが終わった人は衣装制作		
14	ウェディングヘア⑥		衣装制作は各自好きな生地を持ってくる
	ヘアが終わった人は衣装制作		
15	予備		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 橋川 彩	
科目名: 手芸Ⅱ		2年	前期
担当者実務経験: 刺繍手芸作家		講義種別: 実技	
到達目標	<p>様々な手芸を学び基礎技術を身につけ、応用発展して作品に活かしていく。 作り手のポリシーを作品に反映し、用途や機能性、安全性、経済性などを考慮するとともに作品の完成度を高める。 常に感性を開拓しながらトレンド性や他分野との融合を意識するなど広い視野でものづくりに臨み、新しい作品を生み出すことを目指す。</p>		
回	授業内容	課題内容	備考
1	パッチワーク①	9ピースのピンクッション	持ってくるもの 裁縫道具
	パッチワークの基本的縫い方		
2	パッチワーク②	9ピースのピンクッション	
	パッチワークの基本的縫い方		
3	つまみ細工①	ヘアアクセサリ	
	つまみ細工を応用したヘアアクセサリ製作		
4	つまみ細工②	ヘアアクセサリ	
	つまみ細工を応用したヘアアクセサリ製作		
5	つまみ細工③	ヘアアクセサリ	
	つまみ細工を応用したヘアアクセサリ製作		
6	タッセル	つまみ細工とタッセルを組み合わせたヘアアクセサリ	
	タッセルの作り方		
7	アップリケ	アップリケのモチーフ	
	アップリケの基礎		
8	スマッキング①		
	スマッキングの刺し方		
9	スマッキング②		
	スマッキングの刺し方		
10	スマッキング③		
	スマッキングの刺し方		
11	飾り結び①		
	結びの練習		
12	飾り結び②	アクセサリや雑貨	
	飾り結びを使ったオリジナル雑貨製作		
13	プレスレットメーカー①		
	プレスレットメーカーを使ったプレスレットの編み方		
14	プレスレットメーカー②	プレスレット	
	オリジナルプレスレット製作		
15	プレスレットメーカー③	プレスレット	プレスレット製作が早く終わった場合はリボンワークをするかも
	オリジナルプレスレット製作		
成績評価	<p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 松山 日出男	
科目名: Office		2学年	前期
担当者実務経験: 当校指導歴1988年度～		講義種別: 演習	
到達目標	Wordの基本・応用操作を学ぶ(文書デザイン検定1級合格レベル) PowerPointの基本・応用操作を学ぶ(プレゼンテーション作成検定1級合格レベル) 企業会計の基礎知識と初級簿記を学ぶ 弥生会計ソフトの基本・応用操作を学ぶ(CP会計初級合格レベル)		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Wordの基本操作		
2	文書デザイン4級レベル問題		
3	文書デザイン3級レベル問題		
4	Wordの応用操作		
5	文書デザイン2級レベル問題		
6	文書デザイン1級レベル問題		
7	答案練習①		
8	答案練習②		
9	PowerPointの基本操作		
10	プレゼンテーション作成検定3級レベル問題		
11	プレゼンテーション作成検定2級レベル問題		
12	プレゼンテーション作成検定1級レベル問題		
13	答案練習①		
14	答案練習②		
15	期末(検定)試験		
成績評価	出席点25% 課題提出点50% 平常点25% (平常点は出席点を超えない) 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 松山 日出男	
科目名: Office		2年	後期
担当者実務経験: 当校指導歴1988年度～		講義種別: 演習	
到達目標	Wordの基本・応用操作を学ぶ(文書デザイン検定1級合格レベル) PowerPointの基本・応用操作を学ぶ(プレゼンテーション作成検定1級合格レベル) 企業会計の基礎知識と初級簿記を学ぶ 弥生会計ソフトの基本・応用操作を学ぶ(CP会計初級合格レベル)		
回	授業内容	課題内容	備考
1	Wordの基本操作		
2	文書デザイン4級レベル問題		
3	文書デザイン3級レベル問題		
4	Wordの応用操作		
5	文書デザイン2級レベル問題		
6	文書デザイン1級レベル問題		
7	答案練習①		
8	答案練習②		
9	PowerPointの基本操作		
10	プレゼンテーション作成検定3級レベル問題		
11	プレゼンテーション作成検定2級レベル問題		
12	プレゼンテーション作成検定1級レベル問題		
13	答案練習①		
14	答案練習②		
15	期末(検定)試験		
成績評価	出席点25% 課題提出点50% 平常点25% (平常点は出席点を超えない) 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 上村 未由	
科目名： カラーコーディネート検定		1学年	後期
担当者実務経験： ウェディングコンシェルジュ（ブライダルスタイリング／パーティー会場コーディネート等）		講義種別： 演習	
到達目標	色彩検定受験に向けて、色彩学の基礎知識を身につける		
回	授業内容	課題内容	備考
1	自己紹介・色彩検定案内		持参物： テキスト、カラーカード
	PCCS①（色の三属性）		
2	PCCS②		持参物： テキスト
	色のはたらき		
3	光と色(波長・眼のしくみ)		持参物： テキスト
			小テスト①
4	混色		持参物： テキスト
	視細胞～分光反射率曲線		
5	視物質～演色性		持参物： テキスト
			小テスト②
6	ランプの種類		持参物： テキスト
	復習①		
7	テスト1		持参物： テキスト
	マンセル表色系		
8	色彩調和①		持参物： テキスト、カラーカード、はさみ、のり
			テスト解説
9	色彩調和②		持参物： テキスト、カラーカード、はさみ、のり
10	色彩調和③		持参物： テキスト、カラーカード、はさみ、のり
	慣用色名		
11	色彩心理①		持参物： テキスト
12	色彩心理②		持参物： テキスト
13	テスト2		持参物： テキスト、カラーカード、はさみ、のり
14	テスト解説 イメージ配色①		持参物： テキスト、カラーカード、はさみ、のり
15	イメージ配色② トレンドカラー		持参物： テキスト、カラーカード、はさみ、のり
成績評価	<p>テスト 60% 授業態度・提出物 40%</p> <p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。</p> <p>期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。</p> <p>各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。</p> <p>A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格</p>		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 上村 未由	
科目名： カラーコーディネート検定		2年	前期
担当者実務経験： ウェディングコンシェルジュ（ブライダルスタイリング/披露宴会場の空間コーディネート）・ジュエリーコーディネーター		講義種別： 演習	
到達目標	色彩検定2級合格		
回	授業内容	課題内容	備考
1	1年後期の復習		持参物：テキスト、カラーカード、はさみ、のり
2	配色イメージ（p.66-75） 一般的な配色イメージを理解し、表現できるようになる	配色を作る	持参物：テキスト、カラーカード、はさみ、のり 色彩検定申込み
3	ビジュアル（p.78-87） ビジュアルデザインにおける色の役割や、メディアデザインの基本的な色の知識について学ぶ		持参物：テキスト 検定申込み完了報告
4	ファッション（p.90-101） ファッションコーディネートの基本的なイメージや分類について学ぶ		持参物：テキスト
5	インテリア（p.104-114） 住空間のインテリアについて各部屋の目的にあったカラーコーディネーションを理解する		持参物：テキスト
6	景観色彩（p.116-125） 景観色彩に関わる基礎知識を学び、景観設計の配慮すべき事項を理解する		持参物：テキスト
7	復習		持参物：テキスト
8	検定前練習問題		持参物：テキスト
9	検定直前模擬試験		
10	検定振り返り パーソナルカラー①		持参物：カラーカード、はさみ、のり
11	パーソナルカラー② カラー診断		持参物：カラーカード、はさみ、のり、色鉛筆
12	パーソナルカラー③ カラージュ作成		持参物：コラージュ素材（雑誌/マスキングテープ等）、はさみ、カッター
13	イメージ配色① 一般的なイメージを表す配色を作る		持参物：カラーカード、はさみ、のり、色鉛筆
14	イメージ配色② イメージに合うカラージュの作成		カラージュ素材
15	総復習		
成績評価	検定の合否 50% / 小テスト・提出物 20% / 意欲・態度 30% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70～79点 C(評価) 60～69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 財津 香壽子	
科目名: 就職対策		1学年	後期
担当者実務経験: 朝日新聞宣伝部、複数の企業人事部に勤務。大学キャリアセンターでキャリアカウンセラーとして勤務。厚労省国家試験/技能検定試験委員。		講義種別: 講義	
到達目標	①卒業後の進路を自ら選択・決定できるようになる。 ②社会人として求められる能力・姿勢を理解し、就職活動の流れ・ポイントを理解する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション	「学生生活マトリックス」作成	
	自己分析1		
2	自己分析2	ワーク「エゴグラム」	
	アセスメントから自分を知る		
3	他己分析		
	ワーク「ジョハリの窓」		
4	仕事理解	ワーク「職業興味検査」(VP1)	
	職業に対する興味を知る		
5	自己分析・他己分析から自己PRシートを作成		
	自己PRシート作成		
6	履歴書作成の基本	学校様式履歴書 基本項目記入	
	学校様式履歴書 基本事項の書き方		
7	趣味・特技・参加イベント、志望動機の書き方	個別対応	
	学校様式履歴書 趣味・特技・参加イベント 記入		
8	自己PRの書き方		
9	自己PR作成		
	個別対応		
10	ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)の書き方		
11	ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)作成		
	個別対応		
12	ES(エントリーシート)とは?		
	ESの書き方/応募書類作成の手順・郵送の知識		
13	面接とは?	個別対応	
	面接の基本と流れ		
14	web(うえぶ)面接・グループディスカッションのポイント		
	個別対応		
15	履歴書作成・提出		
	個別対応		
成績評価	期末の授業終了時に担当講師が評価し、成績を算出する。授業の2/3以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 財津 香壽子	
科目名: 就職対策		2年	前期
担当者実務経験: 朝日新聞宣伝部、複数の企業人事部に勤務。大学キャリアセンターでキャリアカウンセラーとして勤務。厚労省国家試験/技能検定試験委員。		講義種別: 講義	
到達目標	就職だけを到達目標とせず卒業後の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力・態度を育てる「社会に出るための準備教育」である。 ①卒業後の進路を自ら選択・決定できるようになる。 ②社会人として求められる能力・姿勢を理解し、就職活動の流れ・ポイントを理解する。		
回	授業内容	課題内容	備考
1	オリエンテーション		
	自己PRの書き方/自己PR作成		
2	自己PR作成		
	自己PR作成/個別指導		
3	ガクチカの書き方		
	ガクチカの書き方/ガクチカ作成		
4	ガクチカ作成		
	ガクチカ作成/個別指導		
5	趣味・特技・参加イベント、志望動機の書き方		
	趣味・特技・参加イベント作成/個別指導		
6	履歴書作成・提出		
	学校様式履歴書作成(除・志望動機)/個別指導、授業終了時に提出		
7	他己分析		
	ジョハリの窓/個別指導		
8	面接とは?		
	面接の形式と流れ/身だしなみ/個別指導		
9	ウェブ面接・グループディスカッションのポイント		
	ウェブ面接・グループディスカッションのポイントと注意点/個別指導		
10	面接の質問と答え方		
	面接の質問と答え方/個別指導		
11	自己分析ワーク		
	状況に応じて個別指導(履歴書/ES作成、模擬面接など)		
12	ビジネスに必要な8つの意識と義務		
	個別指導		
13	プロフェッショナルとは?		
	DVD視聴/レポート作成		
14	組織人としての心構え①		
	共に働く力: コミュニケーションゲームを通して学ぶ		
15	組織人としての心構え②		
	まとめ/3年後のキャリアプラン作成		
成績評価	期末の授業終了時に担当講師が評価し、成績を算出する。授業の2/3以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名: 中西 雪江	
科目名: ポートフォリオ制作		1学年	後期
担当者実務経験: マーチャンダイザー		講義種別: 実技	
到達目標	作品制作に関して、常に高い意識を持ち、自身の今後の活動のためにポートフォリオを作成することができる		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ポートフォリオ基本		
	ポートフォリオとは?		
2	ポートフォリオ基本		
	ポートフォリオの種類と方法		
3	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
4	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
5	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
6	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
7	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
8	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
9	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
10	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
11	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
12	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
13	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
14	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
15	ポートフォリオ制作		
	実際に自分の作品のポートフォリオを作成する		
成績評価	出席30% 授業態度30% ポートフォリオ完成度40% 出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A(評価) 80点以上 B(評価) 70~79点 C(評価) 60~69点 D(評価) 不合格		

雑貨&アクセサリデザイン科		講師名： 中西 雪江	
科目名： ポートフォリオ制作		2年	前期
担当者実務経験： マーチャンダイザー		講義種別： 実技	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間の授業で作った作品群をより良くアピールするためのツールとして効果的なポートフォリオを制作する ・就職活動に向け、自分の個性を訴求し、さらに自ブランドのコンセプトを正しく伝えられるポートフォリオに仕上げることができる 		
回	授業内容	課題内容	備考
1	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
2	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
3	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
4	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
5	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
6	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
7	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
8	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
9	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
10	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
11	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
12	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
13	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
14	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
15	ポートフォリオ	作品の撮影と加工	
	就活に向けポートフォリオを制作する		
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・出席40% ・授業態度30% ・作品（統一感、オリジナリティ、分かりやすさ など）30% <p>出席および習熟度、授業課題の提出により成績評価とする。 期末の授業終了後に授業担当講師が評価し成績を算出。 各授業の3分の2以上を出席し、平常授業の成績が60点以上で合格とする。 A評価) 80点以上 B評価) 70~79点 C評価) 60~69点 D評価) 不合格</p>		